

大館の歴史散歩

食と生活を訪ねて ④

あそびの食

昭和二十年代から三十年代にかけては、学習塾も習い事もほとんどの子どもには無縁だった。家の近所、学校の周りは全て遊び場だった。

田植えのころは用水せきで網でフナをすくったり、ドウで下ジョウを取ったり、カラスガイを焼いて食べた。たまに、アカハラ（イモリ）が網に掛かってびっくりしたこともあった。

梅雨のころは垣根に植えられたスグリの実が食べごろとなる。パチンコ玉大の青い実を水でザッと洗って、口に入れるととても酸っぱい。塩をつけて食べるのだが、食べ過ぎると下痢をした。近所の八百屋でも売っていたが、かくれんぼをしながら、少し熟れているのを枝からつまんで食べるのが楽しかった。

夏休みに入るとほぼ毎日川へ泳ぎに行った。当時、各学校にはプールはもちろんなく、水泳指定場所は現在の長木川の白鳥広場の周辺であった。水は清く、流れも今よりはるかに豊かであった。わんぱく盛りの子どもは、ガキ大将に連れられて、指定場所より

上流や下流で泳いだ。見つければもちろん大目玉であるが、それ以上に楽しみがあった。手作りのガラス箱やヤスを持って、カジカやハヤを追いかけて、急な流れに乗って競争したりした。泳ぎ疲れ



て水から上がると、だれかが火をたいていて、取ったばかりのカジカやハヤを小枝に刺して焼くのである。それに塩をふって食べるのがまたおいしかった。

たまにはガキ大将の言いつけで、川原にある畑からジャガイモをすくったところを見つけてしかられたこともあったが、おおらかな時代であった。

家から塩を持ち出せばしかられるので工夫もした。川原や野に生えているクルミの若枝十五センチほどを、小刀でタバコのドウランのように作り、中に塩を入れるのである。丸一日もすれば塩は赤く

変わる。それを得意になって仲間に見せたりした。砂糖は黄色くなくて溶けるのでやらなかった。

稲刈りの後の田んぼは、格好の遊び場だった。ホニョの残る田んぼで野球をしたあと、一升ビンいっぱいイナゴを捕り、家を持って行ってつくで煮にしてもらって食べたこともあった。

今の日本は、食べ物が種類にしても量にしても昔と比較にならないほどあふれているが、当時は子どもたちの遊びが「食べる」という実益も兼ねていた。そして、遊びの中でこまやかな季節のうつろいを感じ、そこに展開される自然と人間のふれあいを大切にしたのである。

市役所史跡探訪会

ちびっぴギャラリー おとうさん



くんとおともじょうきょうとさきおとさん
おとうさんだよ



りちゃんゲームしてくれるし、やさしいからだいすきなみうら



まさくんうみへいって、すいえいおしえてほしいな～

白沢幼稚園



クイズ 広報 おおだてがヒント

- ▽問題
- ①大館能代空港利活用研究会が発足したのは、何月何日？
 - ②公共下水道の整備区域認可面積は計何ヘクタール？
 - ③今年の生涯学習フェスティバル。開催はいつからいつまで？
 - ④Aターンのテレビコマージュ。イメージガールの氏名は？
 - ⑤大館の方言でバッコというのは何のこと？
- ▽応募方法
- はがきに住所、氏名、年齢、性別、答え（例①—②—）を書いてご応募ください。
- ▽締め切り
- 8月26日（金） 当日消印有効
- ▽応募先
- 〒017大館市宇中城20番地 広報おおだてクイズ係
- ※全問正解者の中から抽選で5人に、特製「秋田犬」のテレホンカードを贈ります
- ▽7月16日号の答え
- ①米代川エコ・ハビ・タウンズ
 - ②7月16日
 - ③11月
 - ④鳥潟会館
 - ⑤ヨパニコギ
- ▽6月16日号の当選者
- ・中村恵美さん（有浦2丁目）
 - ・花岡俊彦さん（川原町）
 - ・佐藤優美さん（一心町）
 - ・民谷てるさん（旭ヶ丘）
 - ・浅利ミツ子さん（常盤木町）
- ※応募総数40、全問正解者35